

子育てを早期に学べるワークショップデザイン

Workshop design for childcare at after-school

サレジオ工業高等専門学校 デザイン学科 伝わるデザイン研究室

半澤 龍大 指導教員 川崎紀弘

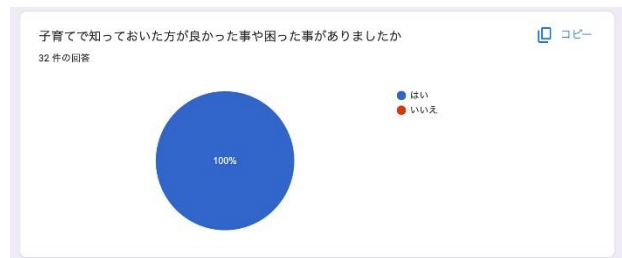
キーワード：子育て、学童、ワークショップ

1. 研究目的

私は現在、小学1年生から6年生まで通っていた学童でアルバイトしている。学童でのアルバイト経験を活かせるデザインをしてみたいと考えた。生活する上で必要なことはたくさんある。例えばメイク、食事マナー、子育てなどである。しかし、学校ではそれら全てを学ぶことはできない。それらを小学生のうちからしっかり学べれば徐々に身近なものになっていき早いうちから常識を身につけることができるのではないかと考えた。私はその中から学童の経験が生かせそうな子育ての仕方（赤ちゃんの抱っこの仕方など）を学ぶ為のワークショップを学童の児童向けにデザインすることを研究対象とした。

2. 調査内容

学童に通っている児童の保護者の方々32人にGoogleフォームでアンケートを実施した。男女比としては男性が約25%女性が約75%であった。「子育てで知っておいた方が良かった事や困った事がありましたか？」と質問したところアンケートに回答してくれた人全員が「知っておいた方が良かった事や困ったことがあった」と答えた。知っておいた方が良かった事や困った事の内容としては「夜泣き、赤ちゃんの睡眠リズム、排便、授乳の生活リズム、食べてはいけないもの、抱っこの仕方、オムツの替え方、イヤイヤ期に対する対応、寝かしつけの方法」などが挙げられた。



はいと答えた方

主にどのようなことか教えてください
(例) 抱っこの仕方
体の洗い方
32件の回答

出産で入院中に色々教えてもらったり、マコティスクールに通って教えてもらってはいましたが、本物の赤ちゃんはお人形さんのようにほじってほじていてくれなかったので、抱っこの仕方から全てドキドキしました

困ったこと。痔の夜泣き

赤ちゃんの睡眠、排便、授乳の生活リズム

小さいうちはハチミツや、ユッケなど食べてはいけないものや、避けた方が良いものなどあること

寝かしつけの方法です。我が子は背中スイッチがあり、夜泣きの時には抱っこをしたまま寝ていた事も数えきれない程ありました。少し前に科学的な解決法の記事
<https://www3.nhk.or.jp/news/html/20221108/amp/k10013884101000.html>を読み、知っていたら試したかった...と思いました。

乳幼児のさもち

①仕事と子育ての両立

こどもが言うことを聞かなくてもイライラしないコツ。
それか子どもをつれてスーパーへ買い物へ行く上手な方法があったら今でも知りたいです。

髪の毛のカット

友だちとのつきあい方

赤ちゃんとの遊び方（あやし方）

おむつの替え方、肌着の種類(ボタンタイプや紐タイプ、短肌着や長肌着などいろいろあり初めてで何を着せれば良いのかよく分かりませんでした)、抱っこの仕方など

グッズのさせ方

離乳食を始めると、急にウンチが臭くなる事。「そんなの聞いてないよー」ってなりました。

3. ワークショップ内容

Googleフォームのアンケートを元に学童でプレワークショップをデザインし実践した。ワークショップは2日間に分けて行った。

1 日目はアンケートで多かった保護者の意見をプレゼン形式で説明した。(※1) 子育てに興味を持ってもらう為に指導員にも参加してもらい、クイズなども組み込んだ。児童は質問にも積極的に楽しく答えてくれ、真剣に取り組んでくれた。1 日目は学童の児童に子育ての興味を持ってもらうことを意識した。2 日目は1 日目でプレゼンした内容の中にあつたオムツ替えや抱っこ仕方など実際に人形を使って実際に体験させた。(※2) 中には苦戦している児童もいたが、ほとんどの子がしっかりと1 日目の内容をしっかり覚えていて、スムーズにオムツ替えや抱っこを行う事ができた。



※1



※2

4. ワークショップを経て

ワークショップを行った後に児童から「またやりたい」「僕、立派なお父さんになってお世話する」「汚いからちょっとやりたくない」など様々な意見を貰うことができた。普段このようなことにはあまり取り組んでくれない児童が誰よりも真剣に取り組んでくれてとてもやりがいを感じた。1 日目のワークショップを行い、子育てに対してしっかりと興味を持ってもらえた事が良い結果に繋がった。ほとんどの児童が1 日目で行ったことを覚えており2 日目で人形に対してだが、実践できていたことからワークショップを通して子育てについて学ぶことはできたと言える。保護者からも今回のこと通して「子育てについて改めて向き合う機会になった」「我が子が小さい頃を振り返る良い機会になった」など様々な暖かいコメントをいただいた。

5. 今後の展開

今回のワークショップを通して次回のワークショップまでに改善した方が良くと思うことは、もっと実際に体験して行う事を増やしてみる。(例えば妊婦体験、寝かしつけ、赤ちゃんのあやし方など) 児童全員がしっかりと参加できるような場をデザインする。保護者にも参加していただき直接児童に体験談や指導などをしてもらいもっと子育てを身近にできる仕方を考える。みんなに見せるスライドをよりわかりやすく興味を持てるようなデザインにする。などが挙げられる。

6. 参考文献

【花王メリーズ】パンツタイプのオムツ替え

https://www.kao.co.jp/merries/guide/pants_hohto/ (2023. 7. 5)

【医師監修】授乳回数と間隔は？ 1 回あたりの時間は？ 新生児から1 歳までの授乳ペースまとめ

<https://benesse.jp/kosodate> (2023. 7. 5)

与えてはいけない食品一覧 - ベビースマイル 赤ちゃんの健康情報

<https://www.babysmileinfo.jp/community/babyfood/prohibited/> (2023. 7. 5)

【助産師監修】赤ちゃんの抱き方 ママもパパも楽になる抱っこの基本

<https://kids-allies.com/column/entry-110.html> (2023. 7. 5)

太陽マガジン

https://www.taiyo-seimei.co.jp/net_lineup/taiyo-magazine/children/004/ (2023. 7. 5)

ALSOK 研究所

<https://www.alsok.co.jp/person/recommend/> (2023. 7. 5)